

R18

恋
は
小
説

aiKOi
echoi

よ
奇
樹

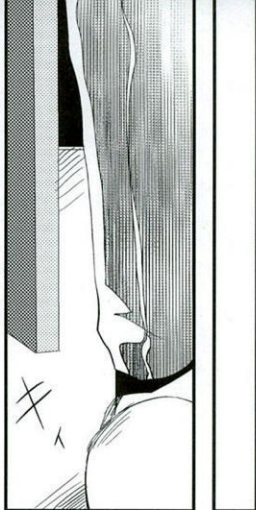






おはよう
シンジ君

おはようございます
渚先生



僕らはまるで
新婚のようなのに

しんこん…？
いや住み込みで
ホームヘルパー
してるだけで



シンジ君…
何故カヲルって
呼んでくれないんだい？

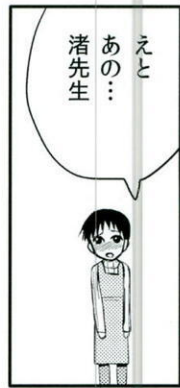
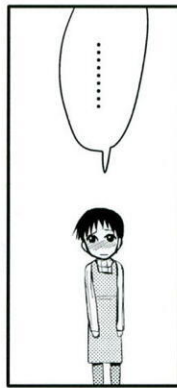
え？
いや僕は
雇われてる側だし…



つれない事を
言うのはこの口かい？

トキ

えっ！
いや
あのっ！







シンジ君

ゴッ

トッ

どうしたの
カヲル君

そろそろ絨毯を
新しくしようと
思っているんだけど

えっ
でもこれ
高かったのに

でも匂いが
とれなくなつて
きてないかい？




そっ
それは僕の
せいじゃ……！

だから僕が責任を
持つて新しいの
買つてくるよ

ちょ
ちよつと！
カヲル君！

あわっ




新しいのに
換えるから
今日は思う存分
出していいよ
シンジ君

さつき書齋に
籠るって…!



食べたら籠ると
言っただよ?



まだシンジ君を
頂いてないからね

あの：
僕はホームヘルパーで
そのこうというのは

本当にシンジ君は
頑なだね

君と僕は
新婚夫婦の
ようだと
思わないかい？

お
思うわけない
じゃないか！

カヲル君は
売れっ子小説家で
僕はただの雇われ人

つれないね

つれないとか
そういう事じゃなくて

でもシンジ君は
いつも抵抗しない



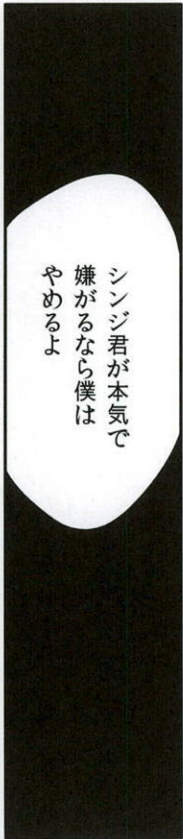
それとこれは
別として
続きにしても
いいかい？
シンジ君

.....

僕は待つよ
シンジ君が
素直になって
くれるのを



——
ッ



シンジ君が本気で
嫌がるなら僕は
やめるよ



かっ

カヲル君が
やめてくれた事
なんてない癖につ

さっ
やっ

でも君は
本当は嫌だと
思っていない

だから僕もつい
調子に乗って
しまうのさ

……いよ

聞こえないよ
シンジ君

調子に乗って
いいよって
言っただよ!

では遠慮無く
調子に乗らせて
もらうよ

でもいつか
シンジ君も
素直になつて

僕の事を――



…だよっ



……



好きだと
言って欲しい——



僕も
カヲル君が
好きっ…だよ！

ポン

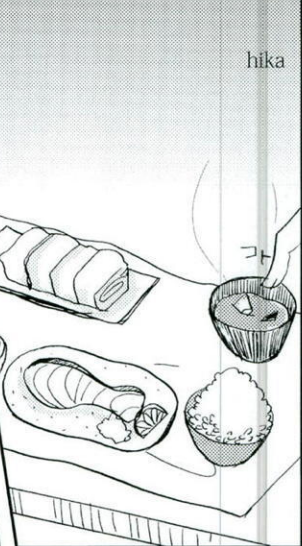


シンジ君よく
聞こえなかった
からもう一度
言ってくれないかい？

ににに

嘘だ！
カヲル君
にやにやしてる！

絶対聞こえてたっ！





今日も
シンジくんは
可愛いね



並の
人気者
だ

そんな彼は
世間では



渚さんは
まるで
王子様
のよう
に
格好
いい

ふっ服を
着て
ください
！

寝る時は
裸な
んだよ
シンジ
くん



恋を
して
本を
読む

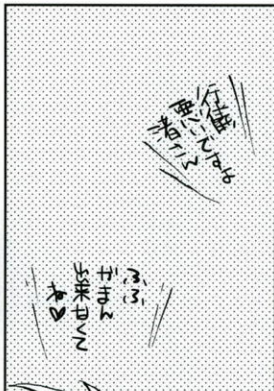
皆彼
に
憧
れて





初めて
出会った時
渚さんは
空腹で
倒れていた

と言うのも
彼は家事が
全然ダメで
ハウスキーパー
を頼んでいた
らしいのだが



ハハハハハ
おもしろ
おもしろ

ふふふ
ハハハ
ハハハ
ハハハ



ただの
大学生で
ある僕が
渚さんの
ハウスキーパー
をしている
理由は



彼に
落ちてしまう



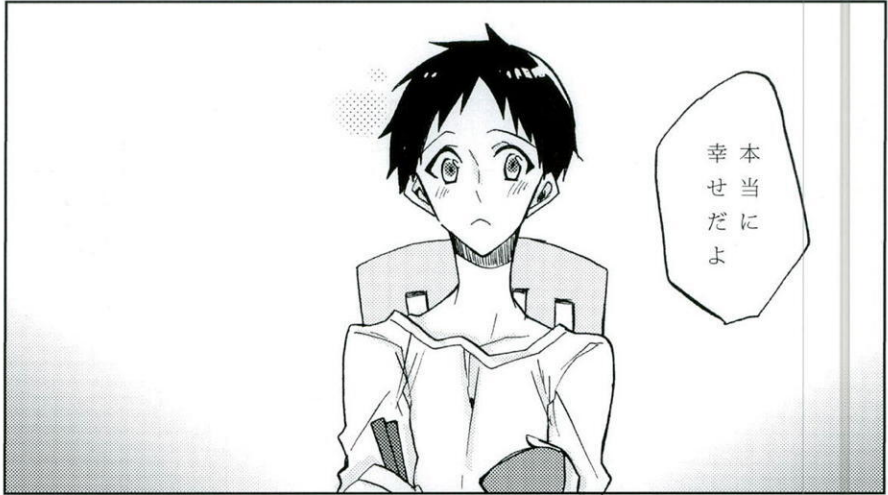
僕が
男だった
だけなんだ

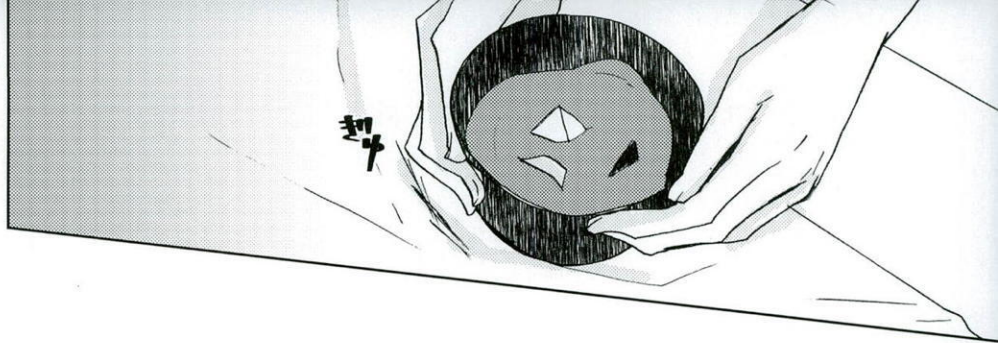


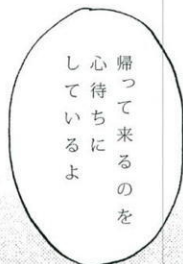
今日のご飯も
とっても
美味しいよ
シンジくん



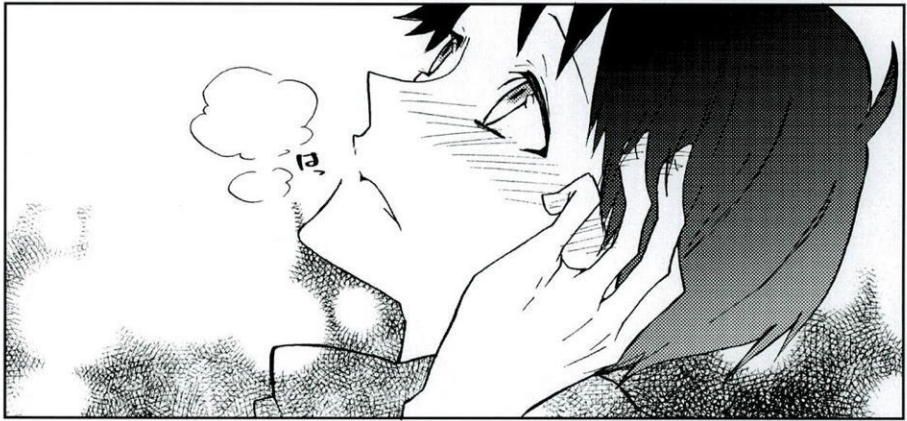
男である僕は
彼を好きに
なる事はない
から……







僕は渚さんに
恋をしてる



もう
ダメかな

この気持は
静かに降り
積もっていく



彼が優しいのは
自分に
だけじゃない

この気持は
憧れから
来るものだ

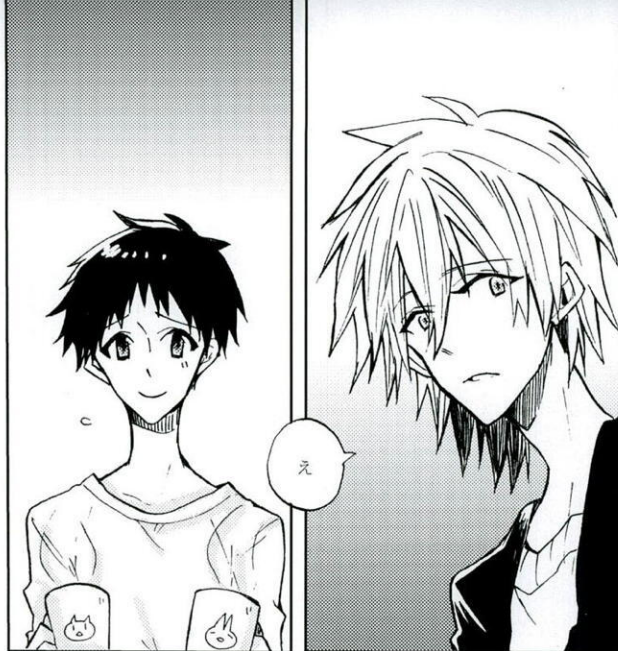


そうしたら
ずっと傍に
居られたのに



憧れだったら
良かったのに……





え



やっぱり
冬休みは断ろう

Q13

どう言う
事だい
シンジくん

あの……
だからやっぱり
迷惑になる
だろうし……

そんな事はないよ
前にも言っただけ
君が居てくれる
だけで僕は
本当に助かって
いるんだよ
君の料理にも
何より君が居て
くれるから
シンジくん

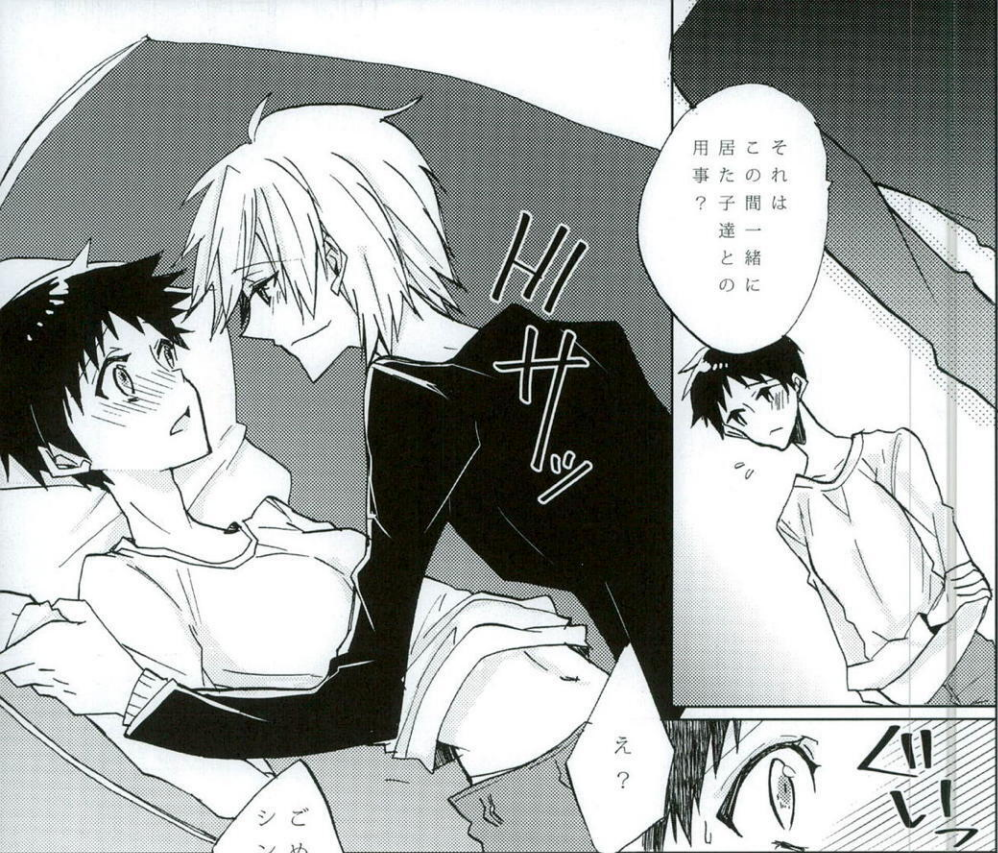
それに……



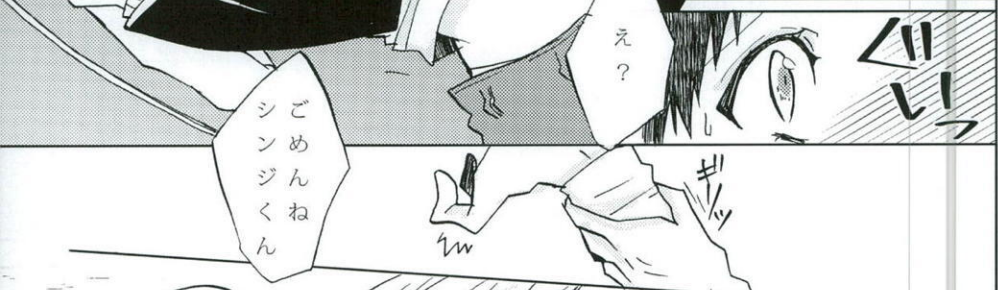
……
そうか



ぼ……僕にも
用事ができた……ので



それはこの間一緒に居た子達との用事？



え？

ごめんね
シンジくん



君を
離す気は
ないんだよ

本当はこんな方法は間違っていると思っているんだ

けれど僕は



違います！
彼女とか
僕には…居ないし
皆さん何をつ



可愛い子だったね
シンジくん
とても仲良さそうに
話していたね
彼女かい？

ちっ…違

僕を断って彼女と
過ごすつもり
だったのかな？
つれないね…



可愛い声だね



好きなんだ
シンジくん

…ごめんね



あ
あ



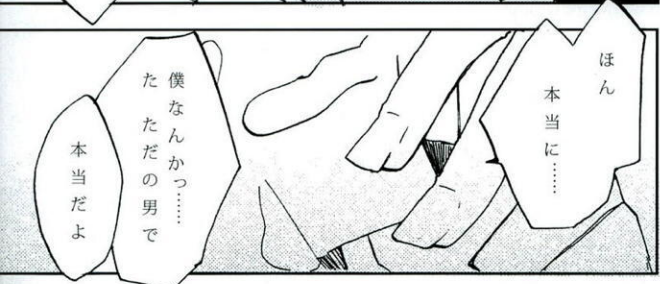


……そんなに嫌だったかい

ちっ違

すっ好きって……

本当に 渚さんがっ 僕を



ほん

本当に……

僕なんかっ…… たただの男で

本当だよ



ずっと君に 惹かれていたんだ 初めて合った日から！

ふふ 毎日伝えていた つもりだったんだけど まだまだ 足りなかったと 言うことかな



すぎだよ

うれしい

うれしい

うれ









ありがとう さいました♡

20140119
「恋は小説より奇なり」

あいこい/いち
<http://aikoi.boy.jp/>
diedrittenkorps@live.jp

echo*/ひか
Pixiv:116325
hika-l-a@hotmail.co.jp

印刷: サンライズ



恋は小説より奇なり

echo+

aiKOi

R18

★